

高校
阿
倍
野
新聞

発行所
大阪市阿倍野区
阪南町中一丁目
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集発行人 木下 明臣

この一年間の成果を

本日文化祭

各クラブの文化祭補助予算	
図	2,650
ブ	1,740
情	1,420
E・S・S	2,550
映	1,940
演	1,600
音	1,630
楽	840
時	1,810
I・C・C	1,000
茶	5,700
写	2,700
宗	1,050
書	2,130
生	3,820
照	2,200
点	750
美	2,400
文	1,800
歴	3,010
洋	1,800
要 請 金 額	60,975
決 定 金 額	44,040

昨年、華入し四十周年の記念の一年に、我々は、我々に与えられた数々の新しい条件のもとにいろいろ進歩退人、そして様々の結果を作り出した。新任の校長先生、諸先生方による学習面、風紀面の改革。それに伴つて校風の微少なながらも変化。「四十にして感わず」のその最初の一步。そうなるように思われる。

ほとんどが優秀企業

すでに四月ごろから求人

毎年のことから、採用選考の時期はますます早くなり、学校からの正式書類が一学期中ごろであるに拘らず、すでに夏休みあけには別表のように大部分の就職希望者がそれぞれの企業に就職内定をみている。今年の就職概況、明年度の就職希望者のために参考となることを、就職指導の先生にお尋ねした。

昭和二十八年年度概況

四月より、すでに予告的な求人をつくめて、各方面からの求人が相次いで本校にも申込まれた。総数、数百件もの求人を選種別にみると件数の多いものから順に、金融・保険・機械・電気機器・証券・商事貿易となる。反対に求人数の少ない種目として海運、鉱業、食品であり総じて過去数年間続いた業に進むものと考えられる。結論として今年は

- ①産業界が依然として若年労働者の不足をかこっていること。
- ②本校の地域的有利性
- ③先輩の努力・特に本校卒業生とその企業側の志望

等の条件から好成績を取めたと考えられる。

部 門	業 種	男	女	部 門	業 種	男	女	計
金 融	普通銀行	8	8	生 産	電 氣 器 機	1	1	2
〃	特殊銀行	3	3	〃	薬 品		4	4
保 險	生命保険	9	9	〃	織 維		9	9
〃	損害保険	1	1	〃	そ の 他	2	3	5
商 業	証 券	3	3	その他	上記以外		2	2
〃	商 社	15	15					
生 産	重 工 業	1	2	計		5	59	64
		3	3					

高校生らしさを要求 容貌だけではだめ

企業とはこれからは通じないと考えてほしい。

希望する職種は事前によく研究すると

成績を重要な視して信を

る。

相手によい印象を
与えることが自然
に出るように――

人間はそれぞれ個性があるのだからだれもかれも試験官に合うわけではないが、いかにも高校生らしい明朗さ、清潔さ、若さはふだん生活態度から自然に現れるものであることを忘れないように。

部 説

行列に関しては、製作物
多くの役員達が、置賜やその
多くの時間を費、修理、作製中
して討論して、及びその後の

行仮
列装

自主性・活動力の表現の場

るが、この隙阪 風紀問題^一等、障害はいろいろ 大会において「仮装行列が復活さ
装行列が持つ本来の意義についてあつたが、長時間にわたつて酷合
て考えてみよう。いくら学校側にいの結果、学校側は我々生徒の
「仮装行列をやられてくれ。」と熱意と誠意を理解、許可され復
言つたところで価値がなければ意活の運びとなつたことで注目す
味がない。今迄は野次馬的な仮装すべきことは、「三年のみにやつ
行列支持者が多かつたように見てもおろろ」という意見が一、
られた。仮装行列自体は、やり二年の議員のほば全員から出た
るが、この隙阪 風紀問題^一等、障害はいろいろ 大会において「仮装行列が復活さ
装行列が持つ本来の意義についてあつたが、長時間にわたつて酷合
て考えてみよう。いくら学校側にいの結果、学校側は我々生徒の
「仮装行列をやられてくれ。」と熱意と誠意を理解、許可され復
言つたところで価値がなければ意活の運びとなつたことで注目す
味がない。今迄は野次馬的な仮装すべきことは、「三年のみにやつ
行列支持者が多かつたように見てもおろろ」という意見が一、
られた。仮装行列自体は、やり二年の議員のほば全員から出た

なら、仮装行列は生徒だけで考え 行列をより良いものに発展させた
れた。目の当りにそれらを見た時 作り、そして行動するものだから
である。高校の体育大会と言えど てくれた三年生に応えるためにも
そして先生や観客の父兄に我々を ば仮装行列に参加すると言う意志
奇さ、優美さ、ユーモアのセンス には風刺があり、夢があり、我々
等を見い出せたから……しかも、 制と活動力をますますのばす方法
あいのいろいろな困難な条件の下で の心がある。我々がそこにあるの
一、二年が、後継者として、三年 主制と活動力。各クラブの作製に
だ。生徒がいとも何を考え、何を 主制と活動力。各クラブの作製に

気が捕わす意見がまとまる迄に
何度も、何度も、クラスの討議を
重ねた。全員の気が捕わなけれ
ば仮装行列に参加すると言う意志

果仮装の準備と機会に、非常に良
いクラス全体の共同作業の成果を
あげたクラスもあつたが、尚来年

方、方だいでいくらでも価値の出、ということである。一、二年は、の仮装行列から本当に学ばなければならぬものである。その意義を未経験だから、今年は三年生のばならないものは、仮装行列の本々たるものではない。その価値を正しく見きわめた上で、を見ておいて、それを参考にし、来たる持ち方なのだ。――仮装行列に、来たる年に立派なものを作ろうと、は体育大会に単に祭典的雰囲気を出す意図である。この態度は、今、そなたのためのものではなく、主幹、行動力を余すところなく、今年、の仮装行列も、実施される、の我々に大変大事なことでない。その生徒の自主性、活動力を実に、押したなら、すばらしい仮装行列、その過程が重要視されるのだ。今、

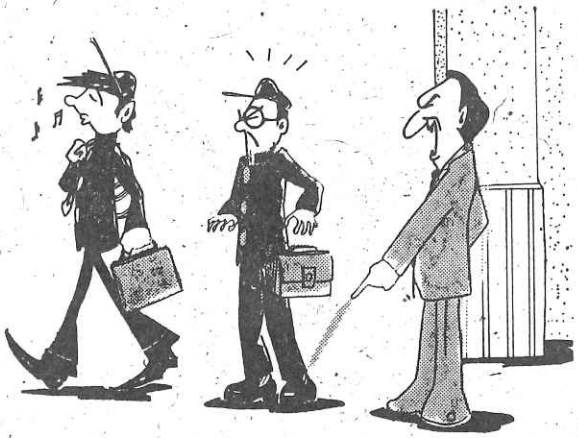
になれば今の一・二年も、この同じ問題を悩まねばならないだろう。また管理や運営上の諸問題が付帯してくるだろう。しかし、これらに我々が、各個人の自主性を團結させてやれば、自然に取除かれてゆくだろう。要するに、我々に与えられた道はただ一つ。そして我々の取るべき道もただ一つ。今年の三年生の仮義行列を活用してより良仮義行列を作り出すこと。そして先生方や父兄にその意義と、その中我々自身を理解してもらうように努めること。最後に仮義行列が、阿倍高生の豊かな人間性を発露させる健全な場となることを全校の皆さんと共に期待したい。

自治会
たより

ラス対抗リレー…反対三〇票
オーグダンス…反対二二票
害物競走…反対三七票
他校のブログラム中より

食欲の秋…賛成三〇三票
燈台元暗し…賛成一九六票
着せ替え競争…賛成一八三票
二二〇米リレー…賛成六四票

アベ高アイロニー



学科試験で水準以下であつても、
そのような人物であれば、それこそ
企業の方から腰を低くして手をさ
のべると請合ひである。

**女子は商社、生保
関係に人気がある**

前表でもわかるように、本校の場
合、圧倒的にこの二つに女子の人氣
集中しているのが今年の傾向で
ある。銀行は残業が多く、疲労度
はばい（企業側は否定してい
ない）のをきらつた傾向が生保関
係勤務時間四時までのキャッチフ
ーズに引寄せられた結果とも考
えられるが、スマートなB・Gラ
フを夢みるあらわれゆとも考え
られてほほえましい。

**試験が不首尾でも
あせらないこと**

本校の場合求人数は府下高校でも
最も多い方であり、数の上では需
給、係上層有利である。（恐ら
く来年度も経済の大変動がない限
り続くと思われるが……）、一度
の失敗でこりずに、またあわてず
によく考えて次の求人に応ずること
である。休暇中ちよと健康を
害して試験日に調子が悪く、休中
ずっと休養して二期になりめで
たく合格した例が今年もあつた。
面接で聞かれることは殆ど家庭
のことである。

企業がいかにか家庭関係に重きをお
いているかがわかる。父母のこと
兄弟のこと、常に家庭関係を明か
るい方向に持つてゆくよう努力す
ること。付随して面接の練習をし
ても所詮タメというもの、普段の
生活態度こそ大切である。

たかが就職ぐらいという安易な
氣勢を捨てること。毎年質の上で
は企業はより高い人材を求めている
ということがいへるであらう。

れてア、高も、流校だ」とホノ騎
馬戦でフアイトあまつて、騎から
おちて王佐大になつたのもいまし
ました。▼祭典ですから和やかに
やりましょ。「コレ」祭りじやな
い。大会だ。▼たんに太鼓の、ざ
まざまかつまぢまの応援。はて
はバケツまで。淑女のダンスぐら
いは静かに觀賞しましょう。そう
めつたに見られるものでもありま
すまい。▼坊やよいコナネンネし
ながら、普付競争のお買物は、子供思
いの校長先生。なればこそ、仕付
もきびしいとか。▼二年男子の優雅
かつ繊細なプロムナード。これを
よちよちんの生徒より、これを
しんが先生だつたとか。▼赤い夕
日に校舎をそめたブオーク・ダン
スも同じ所を行つたり来たり。▼
プラカドに、まはコレラか九州
か、コレ、本当の予期せぬ出来事

傳統

「いむゆる学校の伝統というものは何をさしているのかというのに対しては、ほとんどの学校が、「一言から受継がれている校風だ」と述べている。すなわち、分り安きように阿倍高に例をとると、阿からは独立していきなり、等また新しい学校は「これから動のつみかさねが伝統の土台につていくもので、新しいいを作り出していくのみ。」と意一致していた。

高
津

「健全な身体は、

れば型破りの勉強

成城

明朗自発創生。
の黄顔」流

天

ている。今は住

城 成
として
四月開校
四月定時

住吉高等学校上

鍛練することと

可能性という厚
ではないだろう

「寒々としたひびき」二年四組 湯川大二郎

星でしか

わから

五

能研テスト

10